

## 「(仮称)文花地区まちづくり方針(案)」に対する パブリック・コメントの実施結果について

「(仮称)文花地区まちづくり方針(案)」について、広くご意見を募集したところ、貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました。

ご意見・ご提案をいただいた方に厚く御礼を申し上げますとともに、今回いただいたご意見などの概要、ならびにそれに対する区の考え方を公表します。

### 1 パブリック・コメントの実施概要

#### (1)公表資料

ア (仮称)文花地区まちづくり方針(案)

イ (仮称)文花地区まちづくり方針(案)概要版

(仮称)文花地区まちづくり方針(案)について説明会を開催しました

開催日:平成 30 年 1 月 14 日(日)、17 日(水)、20 日(土)

#### (2)募集期間

平成 30 年 1 月 11 日(木)から 2 月 13 日(火)まで

#### (3)意見募集の周知・公表方法

ア パブリック・コメントの周知

・区のお知らせ(平成 30 年 1 月 11 日号)

・区ホームページ

イ 公表資料の閲覧場所

・区民情報コーナー(区役所 1 階)

・都市計画課(区役所 9 階)

・区ホームページ

#### (4)提出方法

直接または郵送、ファクス、Eメール

#### (5)提出先

墨田区都市計画部都市計画課都市計画・開発調整担当

#### (6)意見募集の結果

意見提出者数 12 名 1 団体

意見総数 22 件

2 提出されたご意見等の概要と区の考え方  
類似意見は集約しています

(1) まちづくり方針(案)に関する意見等(6件)

No	意見・提案概要	意見・提案に対する区の考え方
1	(2)ゾーン別まちづくり方針イメージの「多世代居住・生活交流ゾーン」には、地域特性や既存施設を踏まえると、福祉的な視点での方針も必要ではないか。	ご指摘のとおり、このゾーンでは、児童福祉施設や、介護施設、高齢者交流施設があるほか、今後、「福祉総合型高齢者支援総合センター」の整備も予定されていることから、福祉的な視点での記述を行います。
2	(2)ゾーン別まちづくり方針イメージの「住工商共生ゾーン」及び「多世代居住・生活交流ゾーン」において、「学生や研究者等の新たな需要に応えた環境整備が促進されるまち」の記述は、今後、区が学校関連施設の整備を行うという意味か。	現在のところ、多世代居住・生活交流ゾーンにおいて、区が学校関連施設を整備する考え方はありません。 なお、ご指摘の誤解が生じないように文言の整理を行います。
3	北十間川沿いの道路である「主要生活道路(9m)」は、今後、拡幅を行う予定か。	区では、当該道路を主要生活道路に位置付けています。 主要生活道路については、建替えなどの機会を捉え、空間の確保等をお願いするとともに、一定規模を超える大規模な開発等の計画時においては、「墨田区良好な建築物と市街地の形成に関する指導要綱」等に基づき、空間の確保等について指導しています。 現在計画が進んでいる大規模敷地周辺においては、道路に面して空間を確保してもらい、安全に通行できる環境になるよう、協議を行っています。

4	<p>文花地区で、具体的にまちづくりがどのように進行していくのか、スケジュールを教えてほしい。</p>	<p>現在計画が進んでいるのは、専門職大学の開設(平成32年4月)、千葉大学の開設(平成33年4月)、花王すみだ事業場の計画(平成35年目標)です。一方では、現在都営住宅の一部建替えが進んでいます。</p> <p>今後、まちづくり方針(案)に従い、これらの事業計画を適切に誘導していきます。</p>
5	<p>北十間川沿い、緑と花の学習園、香取神社等では、桜や緑を楽しむことができるが、街中で緑を感じることは少ない。普段の生活においても、四季が感じられるような環境にやさしいまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>北十間川、あずま百樹園、緑と花の学習園、歴史ある神社など、豊かな緑地が多くみられる地域特性を活かし、人々に潤いと憩いを与えるまちづくりを進めます。</p> <p>まちづくりの整備方針などに、緑化の推進について記述を行います。</p>
6	<p>大学周辺など、「ものづくり研究開発拠点ゾーン」以外においても、地区計画を策定してほしい。</p>	<p>現在のところ、これから計画を進めていく花王すみだ事業場のある「ものづくり研究開発拠点ゾーン」において、地区計画を策定する予定としています。</p> <p>今後、新たに大規模敷地における開発が計画された場合や、まちづくり機運の高まりにより、地域の詳細な方針を定める必要が生じた際には、まちづくり方針(案)の考え方を踏まえ、地域特性や周辺環境を考慮し、地区計画を含めたまちづくりの手法を検討していきます。</p>

(2)大規模敷地における計画に関する意見等(4件)

No	意見・提案概要	意見・提案に対する区の考え方
1	大学の開設による学生等の増加や、花王すみだ事業場の従業員の増加により、鉄道や道路の混雑が予想されるが、整備についてどのように考えているか。	【鉄道】 大学及び花王すみだ事業場周辺には、小村井駅、亀戸駅、押上駅、曳舟駅と多数の駅があり、通学・通勤の経路は様々であると考えられます。現在のところ、鉄道等を整備する計画はありませんが、引き続き、鉄道事業者等と協議を行っていきます。
2	小村井駅及び押上駅から大学に至る主たる道路においては、歩道を拡幅してほしい。	【道路】 現在のところ、新たに道路を整備する計画はありませんが、現在計画が進んでいる大規模敷地周辺においては、道路に面して空間を確保してもらい、安全に通行できる環境を目指します。
3	小村井駅に新しく改札を設けてほしい。	【道路】 現在のところ、新たに道路を整備する計画はありませんが、現在計画が進んでいる大規模敷地周辺においては、道路に面して空間を確保してもらい、安全に通行できる環境を目指します。
4	大学敷地内に、地域の方が交流できる場所がほしい。	大学エリアは、現在策定している大学整備用地活用基本構想のなかで、全体が地域に開かれた開放的な空間として整備する方針となっており、これを踏まえ、各大学にも地域の方と交流できるキャンパスづくりを検討していただきます。

(3) 手続き等に関する意見等(3件)

No	意見・提案	意見・提案に対する区の考え方
1	まちづくり方針(案)に関するパブリック・コメントや説明会についての周知の方法について教えてほしい。	<p>パブリック・コメントにおける手続きは、「墨田区のパブリック・コメント手続きに係る基準」に基づき、行っています。</p> <p>具体的には、区のお知らせ及び区ホームページにパブリック・コメントの実施について周知し、区ホームページ、区民情報コーナー(区役所1階)及び都市計画課(区役所9階)で、公表資料の閲覧を行っています。</p> <p>また、今回のまちづくり方針(案)のパブリック・コメントにおいては、上記に加え、まちづくり方針(案)の説明会を開催しています。</p> <p>なお、1回目の説明会において、地域の方が、パブリック・コメントの実施を知らないとのこと意見をいただいたことから、町会の方々のご協力により町会掲示板でのご案内も行いました。</p> <p>今後、「文花地区のまちづくり」に関する情報については、区ホームページに専用ページを作成し、情報を提供していきたいと考えています。</p>
2	パブリック・コメントにおける図書の閲覧を、庁舎だけでなく、出張所でも行ってほしい。	
3	まちづくり方針決定後も、定期的な情報提供を行ってほしい。	

(4) その他意見等(9件)

No	意見・提案概要	意見・提案に対する区の考え方
1	文花地区内の地区幹線道路(曳舟たから通り)及び主要生活道路沿いについて、高度利用の観点から、建ぺい率及び容積率を見直ししてほしい。	<p>まちづくり方針とは、地域の特性に応じて策定する将来のまちづくり計画のことです。</p> <p>まちづくり方針(案)では、まちづくりの目標や方針を掲げるとともに、現在計画が進んでいる大規模敷地について、整備方針を定めています。</p> <p>今後、新たに大規模敷地における開発が計画された場合や、まちづくり</p>

2	墨田区内循環バス「すみだ百景すみまるくん、すみりんちゃん」の停留所を、都営文花一丁目住宅付近にも設置してほしい。	<p>機運の高まりにより、地域の詳細な方針を定める必要が生じた際には、まちづくり方針(案)の考え方を踏まえ、地域特性や周辺環境を考慮し、まちづくりの検討範囲やその内容、手法について検討していきます。</p> <p>お寄せいただいた貴重なご意見は、関係部署と共有し、今後の区政運営及びまちづくりに役立てていきたいと考えています。</p>
3	文花地区は都市計画マスタープランにおける「文化・スポーツ拠点」の位置づけがあることから、屋内スポーツ施設等を整備してほしい。	
4	歩行者が安心して通行できるまちづくり(ウォーキングを楽しめる歩道、安全に通行できる横断歩道、ベンチ等を備えた憩いの空間の整備等)を推進してほしい。	
5	香取神社のある五差路において、自動車及び自転車が安全に通行できるようにしてほしい。	
6	多世代かつ多様な人が、安心して健康に暮らせるまちづくり(AEDや防犯カメラの設置、気軽に運動ができる場所、様々なイベントの開催、ITなどを活用した多言語コミュニケーションなど)を行ってほしい。	
7	ライフライン(電気、ガス、上下水道、通信設備等)の整備の状態や災害時の損壊が想定される場所などを調査し、防災関係者で情報共有する等、災害強化を図ってほしい。	
8	防災性向上の観点から、建物調査、無償耐震診断等を行い、地域住民の防災意識の向上を図ってほしい。	
9	千葉大学デザイン・建築スクール及び 専門職大学の開校にあたり、留学生が増加することが予想されることから、留学生による「多文化が息づくまちづくり」を行ってほしい。	